

お知らせ

個人事業税の納期
限は8月31日です

個人事業税(前期分)の納期は、**8月31日(日)**です。納税通知書がお手元に届きましたら、納期限までにお近くの金融機関又は地方事務所税務課窓口で納めてください。
なお、県では「県民応援減税(障がい者・母子家庭の母・父子家庭の父の雇用)」等の減税制度を行っています。

間諏訪地方事務所税務課
☎57・29099

狩猟免許試験

第2回狩猟免許試験を次のとおり行います。
対象●狩猟免許・県内に住所がある20歳以上の方
●網猟及びわな猟免許・県内に住所がある18歳以上の方
※試験日に、各免許対象年齢未満の方は受験できません。
試験日時●9月13日(日)
午前8時30分～午後5時
会場●上小森林センター、松本合同庁舎、飯田合同庁舎
申込方法●住所を所管す

る地方事務所林務課へお申し込みください。

間長野県林務部鳥獣対策
シジ工振興室
☎026・2335・7273

潜在保育士就職支援講習会

保育所等への就職を検討している保育士を対象に、保育所の現状や勤務する上で必要な知識を学ぶことで、安心して就職できるようサポートする講習会です。
対象●保育士資格を有し、現在は保育所等に勤めていない県内在住の方
日時・場所
●9月18日(金)
午前10時～午後4時
諏訪合同庁舎502会議室
●10月23日(金)
午前9時～正午
諏訪市片羽保育園
定員●30名程度
申込締切●9月11日(金)
申込方法●申込書に必要事項をご記入の上、FAX・郵送・電子メールのいずれかの方法で提出してください。

間長野県県民文化部
こども家庭課
☎026・2335・7098
FAX 026・2335・7390

相談会

心配事・結婚相談 間☎79-7228
◇日時/8月16日(日)、9月6日(日)
午後1時30分～午後6時
◇場所/地域活動支援センター2階
◇担当/心配事・結婚相談員

無料法律相談 間☎79-7927
◇日時/9月11日(金)
午後1時～午後5時
◇場所/中央公民館 講義室
◇担当/長野県弁護士会諏訪在住会 根岸 紘太郎 弁護士

出張年金相談 間☎23-3661
◇日時/9月2日(水)
午前10時～午後3時
◇場所/富士見町役場
◇担当/岡谷年金事務所職員

税務相談所 間予約☎28-6666
◇日時/9月9日(水)
午前10時～正午
◇場所/下諏訪商工会議所会館2階
◇担当/関東信越税理士会諏訪支部の税理士
※事前に電話でお申し込みください。

交通事故巡回相談 間予約☎57-2902
◇日時/8月13日(木)
午前10時～午後3時
◇場所/諏訪地方事務所
◇担当/長野県交通事故相談所松本相談所の交通事故相談員

スポーツ

社会体育館 ☎79・4922

- 野球選手権大会
○8/15(土) 午前7時
- 深山農村公園グラウンドほか
●少年バレーボール教室
○8/21(金) ○8/28(金)
○9/4(金) ○9/11(金)
- 午後6時30分
●穂屋祭体育大会
○8/24(土) ○8/26(日)
○8/29(土) ○8/30(日)
- 少年バスケットボール教室
○8/29(土) ○9/5(土)
○9/12(土) 午後6時
- 原村民登山
○9/6(日)
- 利用者会議
○9/9(水) 午後7時30分

カルチャー

- ファミリースポーツデー
○9/12(土) 正午～午後5時
- 原村卓球大会
○9/14(日) 午前9時
- 中央公民館 ☎797940
●デジタル教室
○8/21(金) 午前9時30分
- あひるクラブ⑤
○8/26(日) 午前10時
- 山歩き講座④
○8/28(金)
- ジュニア教室
○8/29(土) ○9/14(日)
午後9時30分
- はらむら塾⑥
○9/3(日) 現地学習
- 料理教室
○9/9(水) 午後9時30分

おらが村の足跡 5 ～底の丸い土器～

教育課文化財係 79・7930 (直通)

1万年以上も続いた縄文時代を通して最も多く作られた土器は、煮炊きに使われた「深鉢形土器」です。この深鉢形土器は地域や時代により様々な形が作られています。今回は、国史跡の阿久遺跡から出土した底が丸い深鉢形土器を紹介いたします。縄文時代の始まる草創期と呼ばれる時期の土器は、底



が丸い形をしていました。その後、底が平たい土器も見られますが、主に底が丸い土器が作られています。今からおよそ7000年前の縄文時代前期になると平たい底の土器に代わっていき、阿久遺跡でも前期の中頃になると底が丸い土器はなくなり、平たい土器になっていきます。この様な変化はドングリなどのアク抜き技術の変化や、前期になると一つの場所に留まる様になり、生活スタイルの変化により起こったと考えられています。

この土器は厚さ5～6mmと薄く作られていて、底が丸く砲弾の様な

形をしています。文様は口縁部に粘土ひもを貼りつけ、粘土ひもと口縁部に竹を半分に割った道具で刻みを付けた文様で、これまで紹介した土器に比べると非常にシンプルな土器です。この様な土器は伊那地域特有の土器です。底が丸いため、立たせるのに不安定に思われますが、実際に調理する時は浅い穴を掘り、そこに差し込んだり、石で固定して使用していたようです。

現在、役場1階の村民ホールに底が平たい土器と合わせて展示してありますので、役場にお越しの際は、ぜひご覧ください。
教育課文化財係 佐々木潤

COLUMN

村長きよしの 高原の風

Vol. 48



コラムを書くのもこれが最後となりました。2期目の途中から書きはじめ、9年と6ヶ月分、選挙のため休んだ月もありましたが、全部で113編、我ながらよく続いたと思います。その間皆様にはご愛読戴き、感謝や励ましをお寄せ下さり、有難うございました。

もなく、その時々々の社会や政治の関心事、興味を惹きそうな事、村づくりの方向性など、雑多を無統制に書いてしまいました。今思えば反省しきりです。一編の字数も初期の頃はあまり気にせず、一定のスペースに入れる為字が小さく読みにくいと云われてからは、800字程度に納める事を心掛けました。

当初は言いたい放題と書いたのですが、村長であれば訴える事は解る程度に、爽やかな文章を心掛けました。終わってみればそうだったかどうか、不安でもあります。

合併を選択しなかった原村その論議の終局頃から始まったコラム、謂は自立の原村と共に歩んで来たコラムかも知れません。今、地方創生が叫ばれています。市町村合併によって日本の田舎は、益々衰退が加速され、東京ばかりでなく近くの都市への集中が起きている。それを今更防ぎとして、人口のプールを作るとして連携中核都市を全国に60数ヶ所作るという事。そんなことすれば一層過疎化は進んでしまふのです。原村は矜持(きんぢ)を持って今の村づくりを進めましょう。コラムの終わりを感謝します。

※月号の村長コラムは、清水村長が任期中に書かれたものです。